

「扶養親族等申告書」作成用シート(令和4年用)司法書士国民年金基金

● 準備のため、ご家族の構成を記入してみましょう。

ご家族	お名前	ご年齢	障害	別居の場合に○、 海外等非 居住○印	1年間の収入(令和4年)	
					予測金額(※)	種類
配偶者の方	(死別、離婚、生死不明)	歳	無・普・特	別・非	万円 万円	年金 給与
お子様		歳	無・普・特	別・非	万円 万円	年金 給与
〃		歳	無・普・特	別・非	万円 万円	年金 給与
親御様		歳	無・普・特	別・非	万円 万円	年金 給与
〃		歳	無・普・特	別・非	万円 万円	年金 給与
他扶養親族		歳	無・普・特	別・非	万円 万円	年金 給与

(注意)「ご年齢」は、すべて令和4年12月31日でご判断ください。

※ 控除対象となる配偶者も扶養親族者等もない場合、かつ、ご本人が障害者・寡婦・ひとり親でない場合は**申告書の提出は不要です。**

※ 予測金額は、実際にお受け取りになる総額を記入してみましょう。ただし、申告書にご記入いただく「所得見積額」は、この予測金額から計算します。「公的年金等の受給者の扶養親族等申告書(令和4年分)記入要領」7ページ「Ⅲ 所得金額の見積額の計算方法」をご覧ください。

● 「扶養親族等申告書」をご覧になりながら、記入してみましょう。

「受給者本人」欄の記入

質問① あなた(ご本人)は障害者ですか？

➤ いいえ⇒記入なし。質問②へ

➤ はい↓

◇ 普通障害者の場合⇒「1：普通障害」に○印と

◇ 特別障害者の場合⇒「2：特別障害」に○印と

摘要欄に身体障害者手帳等の種類と交付年月日・障害の程度(等級など)を記入。

質問② あなた（ご本人）は寡婦・ひとり親ですか？

➤ いいえ⇒記入なし。質問③へ

➤ はい↓「公的年金等の受給者の扶養親族等申告書(令和4年分)記入要領」7ページ◆「寡婦・ひとり親」とは をご覧ください。

◇ 寡婦の場合⇒「1：寡婦」に○印と

◇ ひとり親の場合⇒「2：ひとり親」に○印と

摘要欄に「寡婦」「ひとり親」の要件にかかる事実を記入。
要件にかかる事実は、「記入要領」3ページの⑤【記入例】を参照してください。

質問③ あなた（ご本人）の令和4年の所得見積額は900万円超ですか？

➤ 900万円以下⇒記入なし。質問④へ

➤ 900万円超⇒「1：900万円超」に○印を記入。

「扶養配偶者」欄の記入

（質問②で寡婦・ひとり親と答えた方は質問⑦へ）

質問④ 配偶者の方の氏名・生年月日が印字されていますか？

➤ はい

◇ その印字内容（氏名・生年月日）に変更がなければ、氏名のよみがな・続柄（夫 又は 妻 に○印）を記入してください。質問⑤へ。

◇ 控除対象者から外れる場合は、訂正印なしで二重線を引いてください。質問⑦へ

➤ いいえ

◇ 配偶者がおられる場合、質問⑤により控除対象者として該当すれば氏名・よみがな・生年月日・続柄・マイナンバー記入してください。

◇ 配偶者がおられない場合、質問⑦へ

質問⑤ あなた（ご本人）の所得金額の見積額は900万円超えますか？

➤ はい⇒質問(ア)へ

➤ いいえ⇒質問⑥へ

質問(ア) 配偶者の方は障害者で、且つ、配偶者の方の令和4年度中の所得金額の見積額は48万円以下ですか？

➤ はい↓

◇ 普通障害者⇒申告書「障害」欄の「1：普」に○印と

◇ 特別障害者⇒申告書「障害」欄の「2：特」に○印と

摘要欄に身体障害者手帳等の種類と交付年月日・障害の程度（等級など）を記入、「所得見積額」欄に所得金額の見積額を記入。

◇ 質問(イ)へ

➤ いいえ↓

- ◇ 障害者でない場合、又は、障害者だが所得金額の見積額は 48 万円を超える場合は申告の対象にはなりません。申告書の欄には記入しないでください。質問⑦へ

質問(イ) 配偶者の方と同居していますか？

- 同居⇒申告書「別居」の欄には記入なし。質問(ウ)へ
- 別居⇒申告書「別居」の欄に○印を記入。質問(ウ)へ

質問(ウ) 配偶者の方は日本国外に住居していますか？

- 日本国内⇒申告書「非住居」の欄には記入なし。質問⑦へ
- 日本国外⇒申告書「非住居」の欄に○印を記入し、戸籍の付票等の写しを添付してください。質問⑦へ

質問⑥ 配偶者の方の所得金額の見積額は 95 万円以下ですか？

- はい⇒申告書「所得見積額」欄に所得金額の見積額を記入。質問(エ)へ
- いいえ⇒95 万円を超える方は申告の対象にはなりません。申告書の欄には記入しないでください。質問⑦へ

質問(エ) 配偶者の方は障害者ですか？

➤ はい↓

- ◇ 普通障害者⇒申告書「障害」欄の「1：普」に○印と
- ◇ 特別障害者⇒申告書「障害」欄の「2：特」に○印と

摘要欄に身体障害者手帳等の種類と交付年月日・障害の程度(等級など)を記入、「所得見積額」欄に所得金額の見積額を記入。

◇ 質問(オ)へ

- いいえ⇒申告書「障害」の欄には記入なし。質問(オ)へ

質問(オ) 配偶者の方と同居していますか？

- 同居⇒申告書「別居」の欄には記入なし。質問(カ)へ
- 別居⇒申告書「別居」の欄に○印を記入。質問(カ)へ

質問(カ) 配偶者の方は日本国外に住居していますか？

- 日本国内⇒申告書「非住居」の欄には記入なし。質問⑦へ
- 日本国外⇒申告書「非住居」の欄に○印を記入し、戸籍の付票等の写しを添付してください。質問⑦へ

「扶養親族」欄の記入

質問⑦ 親族の方の氏名・生年月日が印字されていますか？

➤ はい

- ◇ その印字内容(氏名・生年月日)に変更がなければ、氏名のよみがな・続柄を記入して質問⑧へ。
- ◇ 控除対象者から外れる場合は、訂正印なしで二重線を引いてください。

他の親族がおられる場合は、質問③により控除対象者として該当すれば氏名・よみがな・生年月日・続柄・マイナンバーを記入してください。

➤ いいえ

◇ 印字されていない親族がおられる場合、質問③からにより控除対象者として該当すれば記入してください。

◇ 親族がおられない場合、**質問はすべて終わりです。**

質問⑧ 親族の方には年金や給与など収入がありますか？

➤ は い⇒質問⑨へ

➤ いいえ⇒質問⑩へ

質問⑨ 親族の方の令和4年度中の所得金額の見積額は48万円以下ですか？

➤ は い⇒申告書「所得見積額」欄に**所得金額の見積額**を記入。質問⑩へ

➤ いいえ↓

◇ 48万円を超える方は、申告書の欄には記入しないでください。

◇ (親族の方が複数おられる場合は、質問⑦へ戻る)

質問⑩ 親族の方は障害者ですか？

➤ は い↓

◇ 普通障害者⇒申告書「障害」欄の「1：普」に○印と

◇ 特別障害者⇒申告書「障害」欄の「2：特」に○印と

摘要欄に身体障害者手帳等の種類と交付年月日・障害の程度(等級など)を記入、「所得見積額」欄に所得金額の見積額を記入。

◇ 質問⑪へ

➤ いいえ⇒申告書「障害」の欄には記入なし。質問(オ)へ

質問⑪ 親族の方と同居していますか？

➤ 同居⇒申告書「別居」の欄には記入なし。質問⑫へ

➤ 別居⇒申告書「別居」の欄に○印を記入。質問⑫へ

質問⑫ 親族の方は日本国外に住居していますか？

➤ 日本国内⇒申告書「非住居」の欄には記入なし。へ

➤ 日本国外⇒申告書「非住居」の欄に○印を記入し、戸籍の付票等の写しを添付してください。

(親族の方が複数おられる場合は、質問⑦へ戻る)

親族がおられない場合、質問はすべて終わりです。

署名欄は、必ずご記入ください。

◇ ご不明な点がございましたら、基金あてご連絡ください。